

学校施設担当

港区立赤坂小学校プールの廃止及び廃止後の活用について

赤坂中学校等新校舎に新たに温水プールが整備されたことを踏まえ、赤坂小学校のプールを廃止し、多目的に活用できるスペースに改修します。

1 背景

赤坂中学校等新校舎（以下「新校舎」といいます。）の整備工事が令和4年6月末に竣工し、8月に既存赤坂小学校校舎と上空通路で接続され、2学期からは小学校5・6年生が新校舎へ移動しました。また、上空通路により施設の一部が一体化されることを契機として、令和5年4月には、新たに赤坂小学校と赤坂中学校が小中一貫教育校として開校します。

新校舎には、室内の温水プールが整備され、小学校低学年児童及び幼稚園児の利用も想定した可動床システムが採用されています。

小中一貫教育校の運営を見据え、小中学校の全学年が新校舎のプールを利用することとし、赤坂小学校のプールを廃止して、多目的に活用できるスペースとします。

2 新校舎プールと赤坂小学校プールの概要

(1) 新校舎プール

縦：25m、横：12m、深さ：0～1.2m、6コース

(2) 赤坂小学校プール

縦：25m、横：11.5m、深さ：1.1m、5コース

3 赤坂小学校プールの課題

既存の赤坂小学校プールは、運用する中で以下のような課題が生じています。

- ・ 施設整備から30年以上が経過する中で、ボイラー設備の老朽化により温度調節に関する不具合が生じているほか、ろ過機や環水ポンプの不具合頻度も高くなっており、耐久性に課題があります。
- ・ 床が固定式で水の増減による水深の調整にも時間や費用がかかることから、低学年はプールフロア（水深調整台）を敷いた範囲（1コース分）のみでプール授業を行っており、利便性に課題があります。

4 小中一貫教育校開校後のプール運用

新校舎のプールは室内の温水プールであることから通年での使用が可能であり、将来的に増加する見込みの学級数を踏まえても、小学校と中学校を合わせた学級数分の授業時程の調整が可能です(参考:令和4年度小学校18学級、中学校4学級)。

また、既存赤坂小学校校舎と新校舎は上空通路で結ばれることから、児童の移動を円滑に行うことができることに加え、新校舎プールは可動床を備え、小学校低学年の全面使用も可能となります。

こうした状況を踏まえ、既存の小学校プールの課題を解消するとともに、省エネルギーの観点から、令和4年度末をもって既存の小学校プールを廃止し、令和5年度から、小学校も全学年を対象に、新校舎のプールで授業を行うこととします。

5 赤坂小学校プール廃止後の活用

赤坂小学校は、この10年間で児童数が約1.5倍に増加しており、新校舎の完成により一旦は既存校舎の利用人数が減少するものの、今後も児童数の増加が続く推計となっています。

赤坂小学校では、校庭のスペースが狭く、現在も休み時間は、ローテーションで学年を分けて使用しているなど、運動スペースが不足しています。

このような状況を踏まえ、赤坂小学校プール廃止後のスペースについては、既存の空間を活かす形で、運動や学習発表会、放課GO→クラブの活動等多目的に活用できるスペースに改修します。

6 今後のスケジュール(予定)

令和4年	9月	令和4年第3回港区議会定例会(補正予算案提出)
	11~3月	赤坂小学校プールの改修実施設計
令和5年	3月下旬	赤坂小学校プール廃止
	4月	小中一貫校運営開始
	5~10月	赤坂小学校プールの改修工事
	11月	赤坂小学校プール改修後の多目的スペースの運用開始